

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-24520

(P2011-24520A)

(43) 公開日 平成23年2月10日(2011.2.10)

(51) Int.Cl.

AO1C 11/02 (2006.01)

F I

AO1C 11/02 311G

AO1C 11/02 311E

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2009-175518 (P2009-175518)
 (22) 出願日 平成21年7月28日 (2009.7.28)

(71) 出願人 00001878
 三菱農機株式会社
 島根県八束郡東出雲町大字揖屋町667番地1
 (74) 代理人 100082337
 弁理士 近島 一夫
 (72) 発明者 渡辺 利宣
 島根県八束郡東出雲町大字揖屋町667番地1 三菱農機株式会社内
 (72) 発明者 野上 明博
 島根県八束郡東出雲町大字揖屋町667番地1 三菱農機株式会社内
 (72) 発明者 秦 啓二
 島根県八束郡東出雲町大字揖屋町667番地1 三菱農機株式会社内

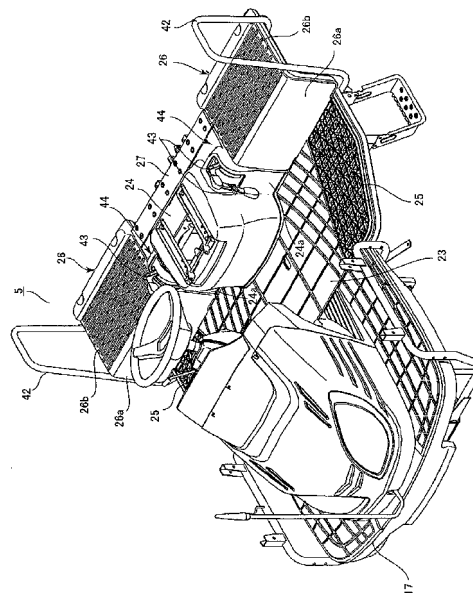
(54) 【発明の名称】 乗用型田植機

(57) 【要約】

【課題】左右の後部サイドステップを兼用して、製作コストを低減した乗用型田植機を提供する。

【解決手段】運転座席の左右側方に設けられた後部サイドステップ26は、フロアステップ23から上方に立ち上がる立ち上り面26aと、フロアステップよりも一段上方に位置したステップ面26bと、がブロー成形によって一体に構成されている。これら左右の後部サイドステップ26は、同一かつ左右対称の形状であり、運転座席の左右どちら側にも取付けられるようになっている。

【選択図】 図5



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圃場に苗を植付ける乗用型田植機において、

運転座席の左右側方にそれぞれ、前記運転座席前方の床面を形成するフロアステップから上方に立ち上がる立ち上り面と、前記立ち上り面と一体に形成されると共に、前記フロアステップよりも一段上方に位置したステップ面と、を有する同一形状の後部サイドステップを備え、

前記後部サイドステップを左右対称の構造として、前記運転座席の左右どちら側にも配設可能に構成した、

ことを特徴とする乗用型田植機。

10

【請求項 2】

前記フロアステップの両側縁にそれぞれ連続して取付けられた左右のサイドステップを備え、

これらフロアステップ及びサイドステップを、平面状に形成しかつ、該フロアステップを左右対称の構造とすると共に、左右の前記サイドステップを、前記フロアステップを中心に左右対称になるように形成した、

請求項 1 記載の乗用型田植機。

【請求項 3】

前記運転座席を、前記後部サイドステップよりも機体前方側に配設すると共に、これら運転座席及び後部サイドステップとの間に操作レバーを配置するレバー配置部を介在させ

20

、前記後部サイドステップを、その立ち上り面が、前記運転座席よりも機体後方側に一段下がった前記レバー配置部のカバーの立ち上り面と、略面一状になるように構成した、

請求項 1 又は 2 記載の乗用型田植機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、苗を圃場に移植する乗用型田植機に係り、詳しくは、そのステップの構造に関する。

【背景技術】

30

【0002】

従来、乗用型の田植機において、作業者が着座する運転座席 1 2 の左右側方に一段高いステップ 3 1 , 3 1 を設け、機体後方に昇降自在に連結された植付部の苗載せ台 2 1 に、機体側から苗の補給などの作業を可能にしたものが案出されている（特許文献 1 参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2 0 0 8 - 2 7 8 7 6 5 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

40

【0004】

しかしながら、上述した特許文献 1 記載の乗用型田植機のように、ステップの形状が左右で相異していたり、運転座席の下方を覆うカバーと一体に構成されていたりした場合、そのステップを運転座席の左右で兼用することができず、製作コストが掛かると共に、他の機種への展開も難しかった。

【0005】

そこで、本発明は、左右の後部サイドステップを、同一形状にすると共に、各後部サイドステップを左右対称の構成とすることによって、上記課題を解決した乗用型田植機を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

50

【0006】

請求項1に係る発明は、圃場に苗を植付ける乗用型田植機(1)において、
運転座席(15)の左右側方にそれぞれ、前記運転座席(15)前方の床面を形成するフロアステップ(23)から上方に立ち上がる立ち上り面(26a)と、前記立ち上り面(26a)と一体に形成されると共に、前記フロアステップ(23)よりも一段上方に位置したステップ面(26b)と、を有する同一形状の後部サイドステップ(26, 26)を備え、

前記後部サイドステップ(26)を左右対称の構造として、前記運転座席(15)の左右どちら側にも配設可能に構成した、

ことを特徴とする乗用型田植機(1)にある。

10

【0007】

請求項2に係る発明は、前記フロアステップ(23)の両側縁(23b, 23b)にそれぞれ連続して取付けられた左右のサイドステップ(25, 25)を備え、

これらフロアステップ(23)及びサイドステップ(25)を、平面状に形成しかつ、該フロアステップ(23)を左右対称の構造とすると共に、左右の前記サイドステップ(25, 25)を、前記フロアステップ(23)を中心に左右対称になるように形成した、
請求項1記載の乗用型田植機(1)にある。

【0008】

請求項3に係る発明は、前記運転座席(15)を、前記後部サイドステップ(26)よりも機体前方側に配設すると共に、これら運転座席(15)及び後部サイドステップ(26)との間に操作レバー(43)を配置するレバー配置部(45)を介在させ、

前記後部サイドステップ(26)を、その立ち上り面(26a)が、前記運転座席(15)よりも機体後方側に一段下がった前記レバー配置部(45)のカバー(24)の立ち上り面(24a)と、略面一状になるように構成した、

請求項1又は2記載の乗用型田植機(1)にある。

20

【0009】

なお、括弧内の符号等は、図面と対照するためのものであるが、これにより特許請求の範囲に何等影響を及ぼすものではない。

【発明の効果】

【0010】

請求項1に係る発明によると、左右の後部サイドステップを同一形状にすると共に、各後部サイドステップを左右対称の構成とすることによって、後部サイドステップを運転座席の左右で兼用することができ、部品点数を削減してコストを低減することができる。また、左右のどちら側でも同一の後部サイドステップを取付けることができるため、組間違いなどが無くなり、組立効率が向上する。更に、多機種への展開も容易となった。

30

【0011】

請求項2に係る発明によると、サイドステップが両側縁に接続するフロアステップを左右対称の構造とすると共に、左右のサイドステップを、フロアステップを中心として左右対称な構成としたことによって、これら左右のサイドステップを裏返して兼用することができる。

40

【0012】

請求項3に係る発明によると、運転座席から一段下がったレバー配置部の立ち上り面と、後部サイドステップの立ち上り面とを、略面一状に連続させることによって、後部サイドステップを簡単な形状とすることが出来ると共に、フロアステップの面積を広く取ることができる。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本願発明の実施の形態に係る乗用型田植機の側面図。

【図2】本願発明の実施の形態に係る乗用型田植機の平面図。

【図3】本願発明の実施の形態に係る乗用型田植機の機体の組立図。

50

- 【図4】本願発明の実施の形態に係る乗用型田植機の機体の平面図。
 【図5】本願発明の実施の形態に係る乗用型田植機の機体の斜視図。
 【図6】本願発明の実施の形態に係る後部サイドステップの取付部を示す要部拡大図。
 【図7】本願発明の実施の形態に係るフロントステップの組立図。
 【図8】本願発明の実施の形態に係るフロントステップの底面斜視図。
 【図9】本願発明の実施の形態に係る乗用型田植機の機体の側面図。
 【図10】本願発明の実施の形態に係るエンジンルーム周りの構造を示す斜視図。
 【図11】本願発明の実施の形態に係る機体のボンネットカバーが開いた状態を示す斜視図。

【図12】本願発明の実施の形態に係るフロアマット構造を示す要部拡大図。

10

【発明を実施するための形態】

【0014】

[乗用型田植機の概略構成]

以下、本願発明に係る乗用田植え機について図面に基づいて説明をする。乗用田植え機1は、図1及び2に示すように、それぞれ左右一対の前輪2, 2及び後輪3, 3からなる走行車輪に支持された走行機体(機体)5を有しており、その後方には昇降リンク6を介して植付部7が昇降自在に取付けられている。上記走行機体5の前方には、ボンネットカバー9に覆われたエンジン(不図示)が搭載されていると共に、エンジンの後方には、ステアリングハンドル11及びメータパネル12などからなる運転操作部13と、作業者が着座する運転座席15と、からなる運転席16が設けられている。

20

【0015】

また、図3に示すように、上記走行機体5には、上方を作業者が移動可能な床面を形成する複数のステップ17, 23, 25, 26, 27が設けられており、このステップは、機体前端から運転操作部13の後端に亘ってエンジン(エンジンルーム53)の左右側方に設けられたフロントステップ(ステップ)17と、運転座席15の前方の床面を形成するフロアステップ23と、該フロアステップ23の側方に配設された左右のサイドステップ25, 25と、運転座席15の左右側方に位置し、フロアステップ23及びサイドステップ25よりも一段高く形成された後部サイドステップ26, 26と、左右の後部サイドステップ26, 26の間かつ運転座席15の後方側に設けられたリヤセンターステップ27と、から構成されている。

30

【0016】

[ステップの構成]

ついで、上記ステップの構成について詳しく説明をする。図3及び図4に示すように、走行機体5の機体フレーム19は、機体中央部において、前後に延設された左右一対のメインフレーム29, 29と、これら左右のメインフレーム29, 29から機体幅方向に延びる複数の第1サブフレーム30と、第1サブフレーム30と交差して連結すると共に機体前後方向に延びる第2サブフレーム31と、フロアステップ23及びサイドステップ25の外周を囲う外枠32と、を有しており、上記フロントステップ17は、該外枠32から機体前方に延設された前部フレーム33に設けられた4箇所のフロントステップ取付部35にボルトによって固定されている。

40

【0017】

フロントステップ17は、機体前方からエンジンを囲むようにU字状に形成されていると共に、その外縁を形成する枠体36と、該枠体36に取付けられた鉄板からなり、その上方を作業者が移動する左右のステップ面37L, 37Rと、ステップ面37L, 37Rの上面に敷設されるステップマット39と、から構成されている(図7参照)。該フロントステップ17の後縁17a, 17aは、平面状に形成された上記フロアステップ23及びサイドステップ25の前縁23a, 25aと接続して略面一状に連続しており、このフロアステップ23は、フロントステップ17と同様にステップ面を形成する鉄板の上にステップマット40を敷設した構造となっている。

【0018】

50

上記フロアステップ 2 3 は、両側縁 2 3 b , 2 3 b が機体後方側に広がった左右対称な略台形形状をしており、その後縁 2 3 c の両端は、運転座席 1 5 (中央カバー 2 4) を跨いで左右の後部サイドステップ 2 6 , 2 6 の機体幅方向中途部にそれぞれ位置していると共に、後縁 2 3 c の中央部は、機体前方に一段突出して配置された運転座席 1 5 に沿って機体前方側に窪んでいる。

【 0 0 1 9 】

機体外側に広がった上記フロアステップ 2 3 の両側縁 2 3 b には、サイドステップ 2 5 の機体内側の側縁である内側縁 2 5 b が接続しており、左右のサイドステップ 2 5 , 2 5 の前縁 2 5 a は、後縁 2 5 c に比して機体内側に位置している。サイドステップ 2 5 は、上述したフロントステップ 1 7 及びフロアステップ 2 3 とは違い、スノコ状に成形された樹脂によって形成されていると共に、フロントステップ 1 7 よりも機体外側に突出している。フロントステップ 1 7 の後縁 1 7 a と接続するサイドステップ 2 5 の前縁 2 5 a は、該フロントステップ 1 7 の後縁 1 7 a よりも機体外側まで延設されており、フロントステップ 1 7 から機体外側に段状に広がっている。この段差部 4 1 の延長線上にフロントステップ 1 7 とフロアステップ 2 3 の境界が形成されている。言い換えると、フロアステップ 2 3 の前縁 2 3 a と、サイドステップ 2 5 の前縁 2 5 a とを、同一直線上に設け、フロントステップ 1 7 の後縁 1 7 a を、これらフロアステップ 2 3 及びサイドステップ 2 5 の前縁 2 3 a , 2 5 a と機体幅方向においてオーバーラップするようにして接続している。

10

【 0 0 2 0 】

また、サイドステップ 2 5 の外側縁 2 5 d は、機体に対して前後に平行な後半部と、機体前半ほど機体内側に位置するように傾斜した前半部とから構成されており、左右のサイドステップ 2 5 は、フロアステップ 2 3 を中心として左右対称に設けられている。そのため、これら左右のサイドステップ 2 5 は、その左右の側縁 2 3 b に接続するフロアステップ自身(外形)が左右対称の形状であることと相俟って、裏返すことによって左右どちらの側にも取付けることができるように構成されている。

20

【 0 0 2 1 】

一方、後部サイドステップ 2 6 は、図 5 に示すように、フロアステップ 2 3 及びサイドステップ 2 5 から略垂直に立ち上がる立ち上り面 2 6 a と、該立ち上り面 2 6 a と直角に接続した水平なフロア面 2 6 b と、がブロー成形により一体に形成された L 字状の樹脂部材であり、これら左右の後部サイドステップ 2 6 , 2 6 は、同一形状かつ、左右対称形状に構成されている。後部サイドステップ 2 6 は、図 6 に示すように、外枠 3 2 から機体後方側に延設された後部フレーム 4 2 の取付部 4 2 a にフロア面 2 6 b を固定すると共に、フロアステップ 2 3 及びサイドステップ 2 5 を支持する第 1 サブフレーム 3 0 の取付部 3 0 a に立ち上り面 2 6 a を固定しており、それ自体がフレームの強度メンバーとして、後部フレーム 4 2 と第 1 サブフレーム 3 0 とを連結している。

30

【 0 0 2 2 】

また、後部サイドステップ 2 6 と、運転座席 1 5 との間には、植付部 7 の昇降、植付クランチの係脱、フロートの感度調整などを行う複数の操作レバー 4 3 . . . が配置されるレバー配置部 4 4 が介在しており、これら運転座席 1 5 の左右に設けられたレバー配置部 4 4 は、運転座席 1 5 の下方を覆う中央カバー 2 4 によって、一体に覆われている。この中央カバー 2 4 は、その略中央に位置する運転座席の下方部分が機体前方に突出していると共に、レバー配置部 4 4 を覆うカバー部分は、該運転座席の下方部分よりも機体後方側に一段下がって構成されている。上述した後部サイドステップ 2 6 の立ち上り部 2 6 a は、この一段下がったレバー配置部 4 4 を覆う中央カバー 2 4 の立ち上り部 2 4 a と略面一状に連続するように形成されており、これにより、フロアステップ 2 3 及びサイドステップ 2 5 のステップ面は、機体後方側に広く確保されている。

40

【 0 0 2 3 】

ついで、フロントステップ 1 7 の分割構成について説明をする。上述したフロントステップ 1 7 の枠体 3 6 は、図 7 に示すように、エンジンの前方に配置された前部枠体 3 6 F と、該前部枠体 3 6 F の左右両端から機体後方側に延設された左右の側部枠体 3 6 L , 3

50

6 Rと、の3つに分割して構成されており、これら側部枠体36 L, 36 Rには、ステップ面37 L, 37 Rを形成する鉄板がボルトによって固定されている。

【0024】

上記側部枠体36 L, 36 R及び前部枠体36 Fはプレスによって成形されており、それぞれ機体取付け時に下方側になる下縁45, 46, 47が側面に対して機体内側に屈曲して断面視、略コ字形状となるように構成されている。左右の側部枠体36 L, 36 Rは、前部枠体36 Fの左右両端にその前端部が差し込まれて溶接により固定されており、図8に示すように、枠体36の下縁45, 46, 47は、全周に亘って機体内側に向かって屈曲している。また、枠体36の後端側である左右の側部枠体36 L, 36 Rの後端側では、その下縁46, 47(反り返り部46a, 47a)が機体上方側に反り返って形成されている。

10

【0025】

更に、枠体36の内周縁を形成するステップ面37 L, 37 Rの内周縁50, 51及び該ステップ面37 L, 37 Rと連続する前部枠体36 Fの内周縁52は、機体上方側に屈曲して縁部を形成しており、ステップマット39がフロントステップ17の内周側にずれないようにしている。

【0026】

これによりフロントステップ17は、上述した左右の側部枠体36 L, 36 R, ステップ面37 L, 37 R及びステップマット39, 39からなり、エンジンの左右側方で作業者が移動するステップを構成する左右の側部フロントステップ部と、前部枠体36 Fからなり、これら左右の側部フロントステップ部の間をエンジンの前方で連結する前部フロントステップ部と、の3つに分割された構成となっている。

20

【0027】

[エンジンルーム周りのカバー構成]

ついで、エンジンルーム周りのカバー構成について説明をする。エンジンを収納するエンジンルーム53は、U字状に形成されたフロントステップ17の内周縁17bと、フロアステップ23の前縁23aとによって画定されており(図4参照)、図9に示すように、エンジンルーム53の前方側を覆うボンネットカバー9と、該ボンネットカバー9の後方でエンジンルーム53と運転席16とを仕切るパネルリヤカバー(カバー部材)55と、パネルリヤカバー55の上方でメータパネルなどを覆うパネルカバー56と、によって機体5の前端側からステアリングハンドル11の下方に亘って連続的に覆われている。

30

【0028】

図10に示すように、フロントステップ17の左右のステップ面(鉄板)37 L, 37 Rの内周縁には、ステアリングハンドル11のハンドルポスト57の前方側においてL字状のブラケット59, 59が溶接されており、これら左右のL字状のブラケット59, 59を介して門型形状の取付けフレーム60がボルトによって機体5に取付けられている。

【0029】

この門型の取付けフレーム60のうち、機体から上方に立ち上がる左右の側面部(立設部)60 L, 60 Rの間を掛け渡された上面部(架設部)60 Uには、平面視略コ字状のブラケット61が取付けられており、その先端部にはそれぞれ機体外側に向けて突起部62, 62が設けられている。これら一対の突起部62, 62には、ボンネットカバー9の内周側に設けられたC字状の保持部(不図示)が遊嵌しており、ボンネットカバー9は、図11に示すように、突起部62, 62を回動支点として開閉自在となっている。つまり、ブラケット61及び突起部62, 62が、ボンネットカバー9の枢支部材となっている。

40

【0030】

また、上記ブラケット61の腕部の間には、棒状の補強部材63が架設されており、アーム部分に変形しないように構成されている。更に、ブラケット61は、取付けフレーム60により支持されるだけでなく、その背面部が機体後方側のハンドルポスト57から延設されたブラケット65にも取付けられて支持されている。

50

【0031】

一方、上記パネルリヤカバー55は、機体後方側から機体前方側に向けてハンドルポスト57の下方部分を覆うように取付けられており、該ハンドルポスト57から延設されたブラケット66にノブボルト67によって固定されている。また、パネルリヤカバー55の前端面55aは、上記ボンネットカバー9の後端面9aと当接する取付けフレーム60の側方まで延設されており、その内周側には、取付けフレーム60の側面部60L, 60Rが嵌る切欠きを有した取付部69・・・が形成されている。

【0032】

この取付部69・・・は、パネルリヤカバー55の内側において、その上端側と、下端側の2個所にそれぞれ設けられており、この取付部69, 69間において、取付けフレーム60の左右の側面部60L, 60Rには、ボンネットカバー9が閉じた状態で互いに当接するボンネットカバー9の後端面9aと、パネルリヤカバー55の前端面55aと、を内側からサポートするサポート部材70が設けられている。

10

【0033】

また、図12に示すように、フロントステップ17のステップマット39のエンジンルーム側の側縁部である内周縁39aには、上記パネルリヤカバー55及びボンネットカバー9の下端部が嵌る溝71が設けられており、ボンネットカバー9及びパネルリヤカバー55は、その下端部がステップマット39及びステップ面37L, 37Rの内周縁50, 51によって規制されている。また、上記パネルリヤカバー55及びボンネットカバー9の下端部によって、ステップカバー39は上方から押さえられて捲れないようになっている。

20

【0034】

また、パネルカバー56は、メータパネル12の周囲を覆う庇56aを有していると共に、該メータパネル12も作業者の視線に対して略垂直になるように傾斜させて構成しており、日差しを遮断して視認性を向上させている(図11参照)。

【0035】

なお、本実施形態では、取付けフレーム60にパネルリヤカバー55の前端側が嵌合して、その左右の側面の変形を規制していると共に、前端面を位置決めしているが、ボンネットカバー9の後端面9aとパネルリヤカバー55の前端面55aとは、取付けフレーム60の側方で当接しているため、当然にボンネットカバー9の後端側に取付部を設け、取付けフレーム60に嵌合するように構成しても良い。

30

【0036】

また、パネルリヤカバー55の取付部69は、切欠きを取付けフレーム60に差し込む構成であるが、例えば、ボルトや磁石による締結など、パネルリヤカバー55は、他のどのような手段によって取付けフレーム60に取付けられても良い。更に、パネルリヤカバー55の上方でボンネットカバー9の後端面9aと当接するパネルカバー56も取付けフレーム60に取付けるように構成してもよい。

【0037】

また、エンジンルーム53は、上記ボンネットカバー9, パネルリヤカバー55及びパネルカバー56の3つのカバー部材によって覆われているが、これらパネルリヤカバー55及びパネルカバー56を一体に構成しても良いと共に、更にカバー部材を細かく分割した構成にしても良い。つまり、エンジンルーム53のカバー構成は、ボンネットカバー9と当接するカバー部材が、取付けフレーム60に取付けられて、その変形を防止することができるものであれば、どのような構成及び形状でも良い。

40

【0038】

更に、上記エンジンルーム53を覆うカバー部材は、樹脂製が望ましいが、必ずしも樹脂製である必要は無く、鉄板などの他の部材によって形成されてもよい。

【0039】

50

また、レバー配置部 44 は、中央カバー 24 により一体に覆われているが、必ずしも中央カバー 24 により覆われる必要はなく、中央カバー 24 とは別にレバー配置部 44 のカバーを形成してもよい。

【0040】

更に、上記フロントステップ 17 は、枠体 36 と、ステップ面（鉄板）37 とを別に部材としているが、側部枠体 36L, 36R と、ステップ面 37 とを一体に形成しても良い。また、サイドステップ 25 は、必ずしもフロントステップ 17 と直接接続している必要はない。

【0041】

上述したように、ボンネットカバー 9 が、取付けフレーム 60 に支持されたブラケット 61 の突起部 62 に高い精度で取付けられていると共に、該ボンネットカバー 9 と連続するパネルリヤカバー 55 の側面が、取付け部フレーム 60 の側面部 60L, 60R によって位置決めされているため、ボンネット 9 は、図 11 の開位置から図 9 の閉位置に回転すると、その後端面 9a がパネルリヤカバー 55 の前端面 55a とぴったりと当接して、略面一状に連続する。

10

【0042】

また、これらボンネットカバー 9 及びパネルリヤカバー 55 は、（閉じた状態で）その下端部がステップマット 39 の溝 71 及びステップ面 37L, 37R の内周縁 50, 51 によって規制されると共に、機体後方側に軽微に傾斜して上方に伸びる当接面 9a, 55a が、その内側を沿う取付けフレーム 60 の側面部 60L, 60R により案内されること

20

【0043】

それにより、エンジンルーム 53 は、密閉性が向上し、雨水や圃場から撥ねた泥水の浸入を防止することが出来ると共に、カバーの端面同士が正確に合わさっているため、その外観も向上する。

【0044】

また、左右の後部サイドステップ 26, 26 が同一形状でありかつ、左右対称の形状であるため、作業者は、後部サイドステップ 26, 26 を運転座席 15 の左右どちらの側にも配設することができ、部品点数を削減してコストを低減することができると共に、組間

30

【0045】

更に、後部サイドステップ 26 の立ち上り面 26a を、その端面がレバー配置部 44 の立ち上り面 24a の端面と略面一状に接続して連続するようにしたことによって、立ち上り面 26a とステップ面 26b とが一体に形成された後部サイドステップ 26 の形状を簡単にして多機種への展開を容易にすることが出来ると共に、フロアステップ 23 の面積を広くして作業者の移動を容易にすることができる。

【0046】

また、後部サイドステップ 26 により、第 1 サブフレーム 30 と、後部フレーム 42 とを連結し、該後部サイドステップ 26 をフレームの強度メンバーとすることによって、

40

【0047】

更に、フロントステップ 17 の枠体 36 を、前部枠体 36F と、左右の側部枠体 36L, 36R と、の 3 つに分割して構成することによって、簡単な形状の側部枠体 36L, 36R を変更するだけで、前部枠体 36F を兼用しつつ、他の仕様の乗用田植機に対応することができる。また、フロントステップ 17 と、サイドステップ 25 及びフロアステップ 23 と、の境界が、段差部 41 の延長線上にあるため、フロントステップ 17 の形状を単純な U 字形状とすることができ、その分割構成を簡単なものとする事が出来ると共に、サイドステップ 25 及びフロントステップ 23 の形状も簡単な形状とすることができる。

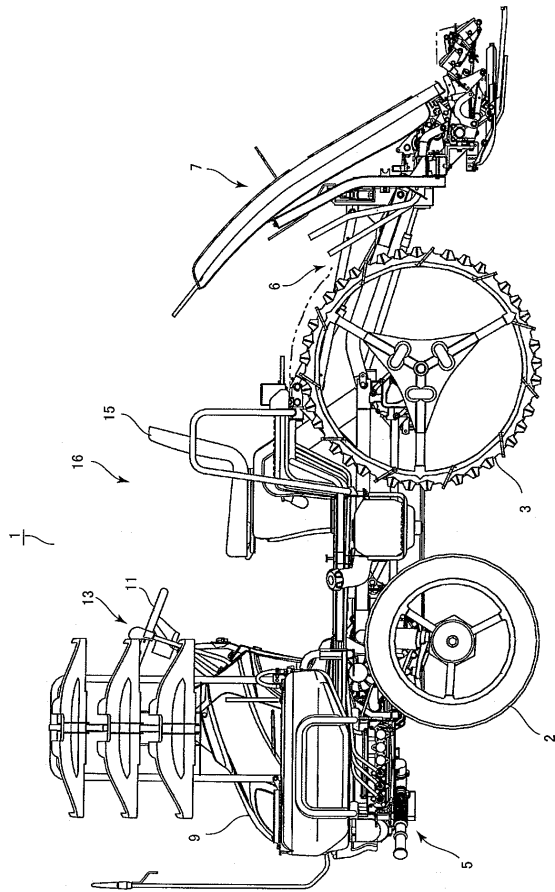
【符号の説明】

50

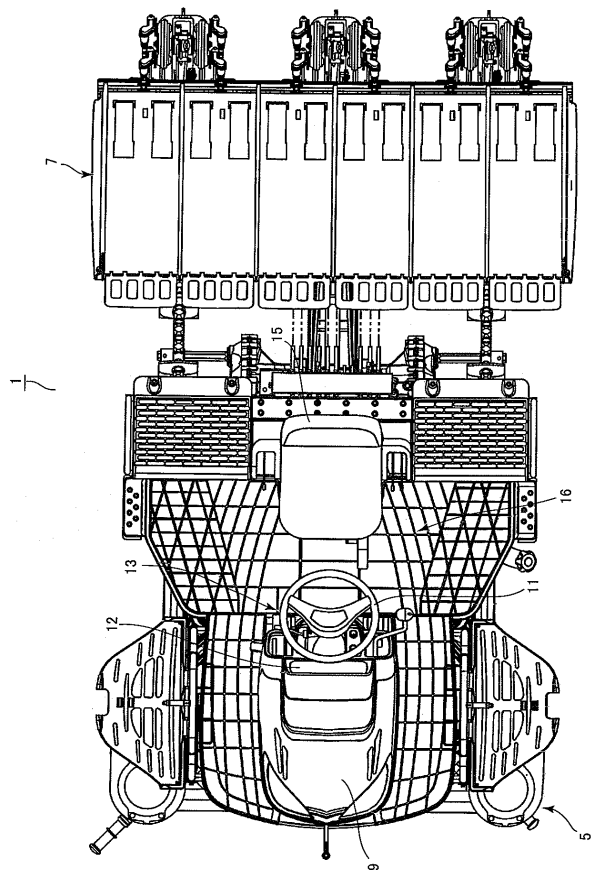
【 0 0 4 8 】

- 1 乗用田植機
- 1 5 運転座席
- 2 3 フロアステップ
- 2 3 b 側縁
- 2 4 カバー（中央カバー）
- 2 4 a 立ち上り面
- 2 5 サイドステップ
- 2 6 後部サイドステップ
- 2 6 a フロアステップの立ち上り面
- 2 6 b フロアステップのステップ面
- 4 3 操作レバー
- 4 5 レバー配置部

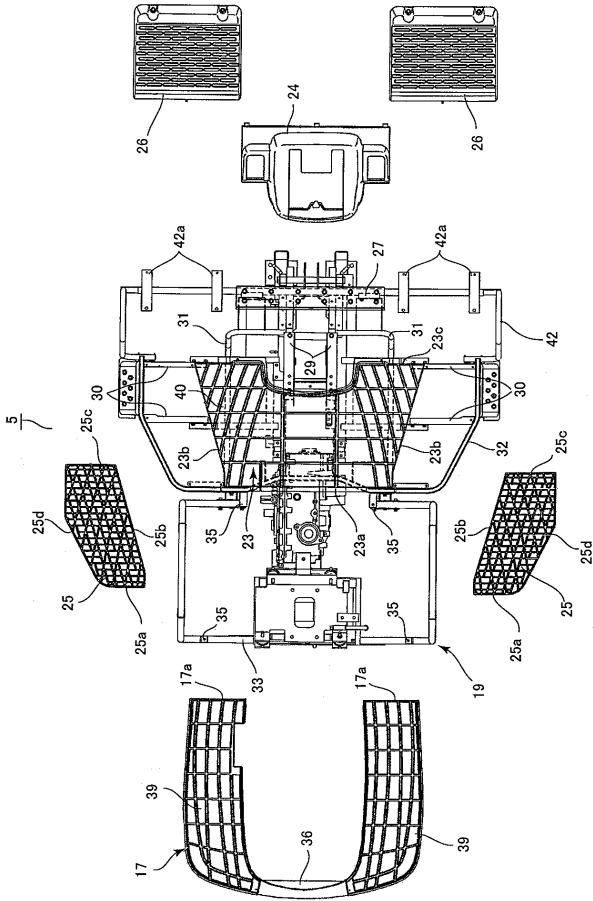
【 図 1 】



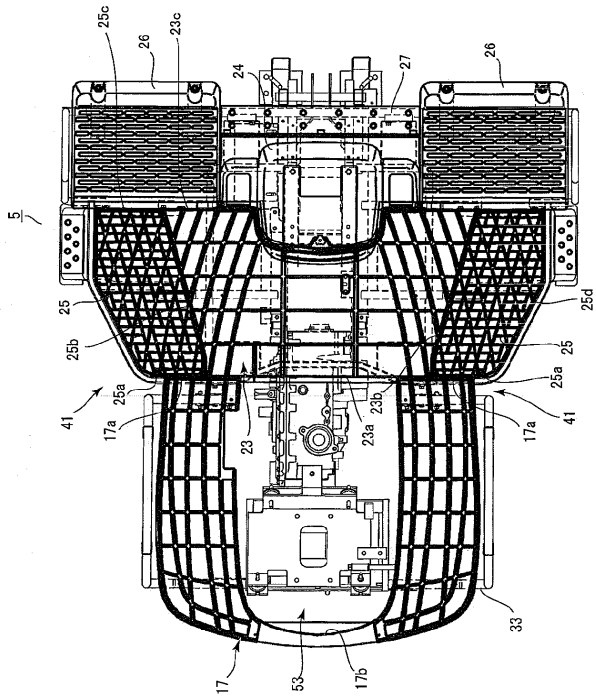
【 図 2 】



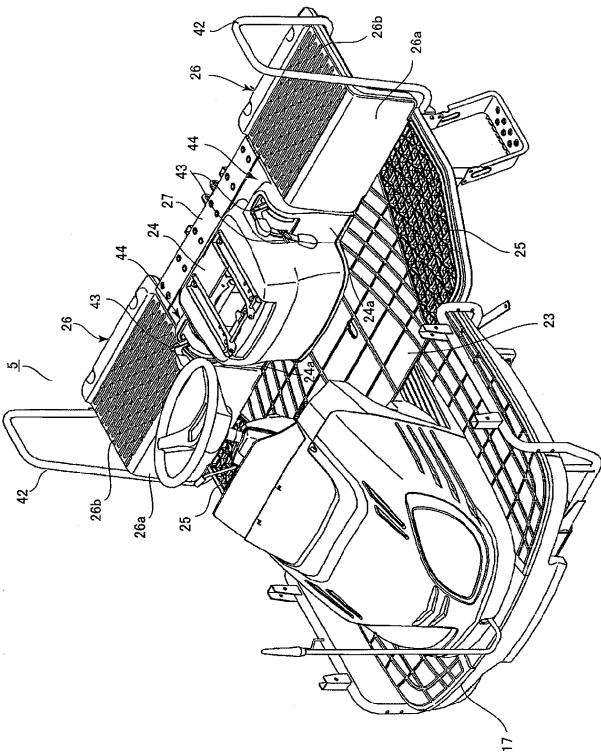
【 図 3 】



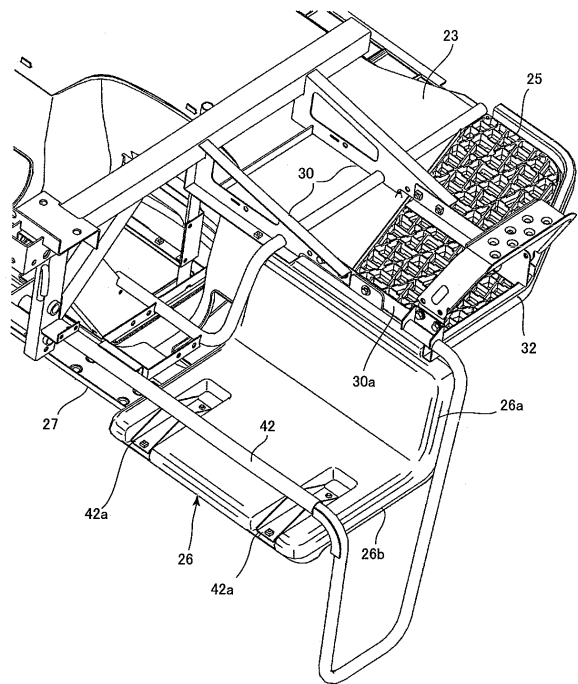
【 図 4 】



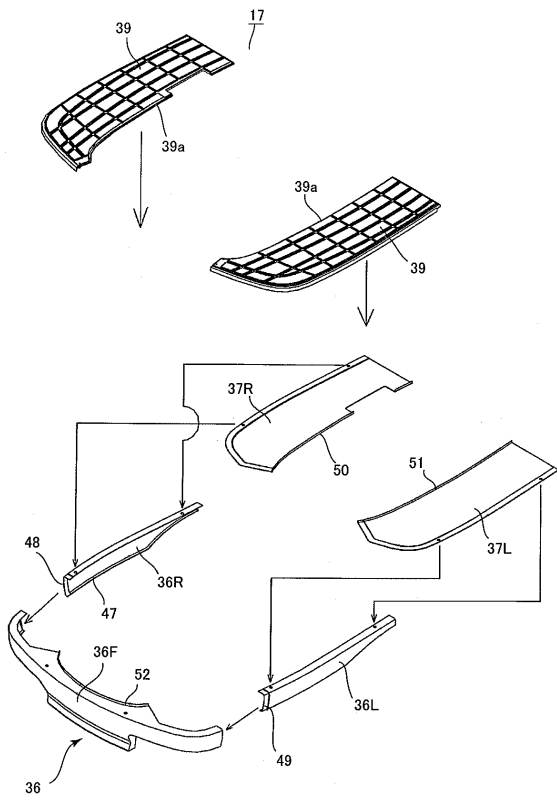
【 図 5 】



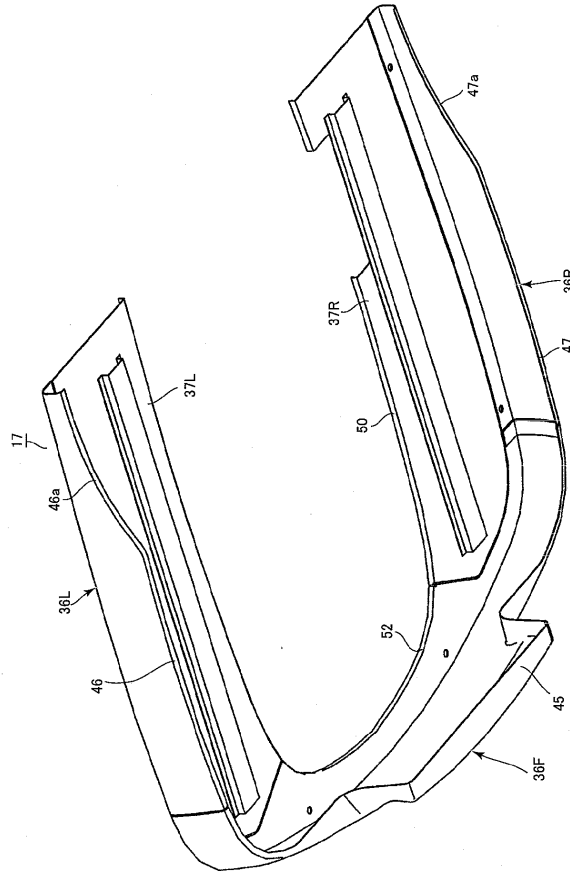
【 図 6 】



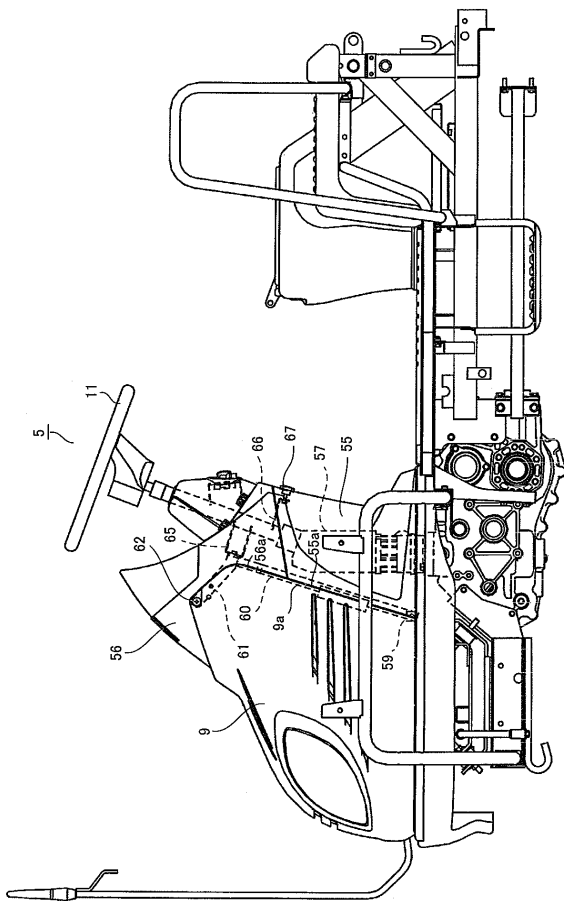
【 図 7 】



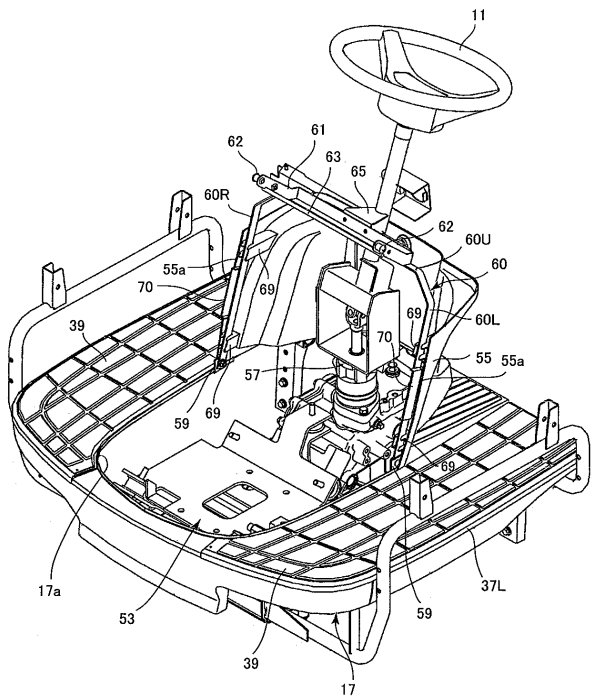
【 図 8 】



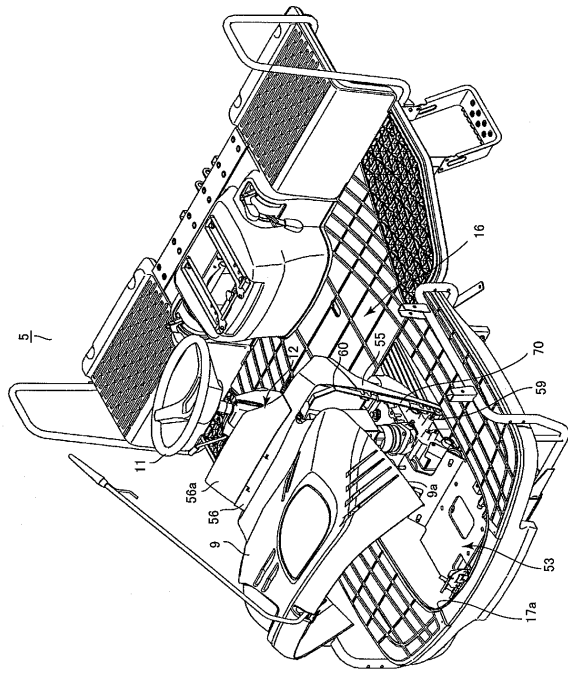
【 図 9 】



【 図 10 】



【図 11】



【図 12】

